

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 9 月 10 日 (2020.9.10)

【公表番号】特表 2019-523008 (P2019-523008A)

【公表日】令和 1 年 8 月 22 日 (2019.8.22)

【年通号数】公開・登録公報 2019-034

【出願番号】特願 2019-504923 (P2019-504923)

【国際特許分類】

C 1 2 N 7/01 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2015.01)

A 6 1 K 35/763 (2015.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/12 (2006.01)

C 1 2 N 15/869 (2006.01)

C 1 2 N 5/0783 (2010.01)

【F I】

C 1 2 N 7/01 Z N A

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 35/04

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 35/763

A 6 1 K 48/00

C 1 2 N 15/12

C 1 2 N 15/869

C 1 2 N 5/0783

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 29 日 (2020.7.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

哺乳動物 P T E N - L o n g 遺伝子を含む、組換えウイルス。

【請求項 2】

前記ウイルスは、腫瘍細胞を標的とするように改変されている、請求項 1 に記載の組換えウイルス。

【請求項 3】

前記ウイルスは、腫瘍特異的プロモーターの制御下で、ウイルス複製に重要な遺伝子を配置するように改変されている、請求項 1 に記載の組換えウイルス。

【請求項 4】

前記組換えウイルスは、単純ヘルペスウイルス - 1 バックボーンを含む、請求項 1 に記載の組換えウイルス。

【請求項 5】

前記 P T E N - L o n g 遺伝子は、組織特異的プロモーターに作動可能に結合されている、請求項 1 に記載の組換えウイルス。

【請求項 6】

前記 P T E N - L o n g 遺伝子は、誘導性プロモーターに作動可能に結合されている、請求項 1 に記載の組換えウイルス。

【請求項 7】

前記 P T E N - L o n g 遺伝子は、構成的プロモーターに作動可能に結合されている、請求項 1 に記載の組換えウイルス。

【請求項 8】

前記組換えウイルスを被験体に投与することを含む、被験体において癌を治療する方法に使用される、請求項 1 に記載の組換えウイルス。

【請求項 9】

前記組換えウイルスを被験体に投与することを含む、癌細胞において P D - L 1 を阻害する方法に使用される、請求項 1 に記載の組換えウイルス。

【請求項 10】

前記組換えウイルスを被験体に投与することを含む、被験体における癌の部位で浸潤 C D 8⁺ T 細胞の数を増加させる方法に使用される、請求項 1 に記載の組換えウイルス。

【請求項 11】

前記組換えウイルスを被験体に投与することを含む、被験体における癌の部位で浸潤ナチュラルキラー細胞の数を増加させる方法に使用される、請求項 1 に記載の組換えウイルス。

【請求項 12】

前記組換えウイルスを被験体に投与することを含む、被験体における癌の転移を阻害する方法に使用される、請求項 1 に記載の組換えウイルス。

【請求項 13】

哺乳動物 P T E N - L o n g 遺伝子を含む組換えウイルスを被験体に投与することを含む、被験体における癌を治療する方法に使用される、組換えウイルス。

【請求項 14】

前記組換えウイルスは、腫瘍細胞を標的とするように改変されている、請求項 13 に記載の組換えウイルス。

【請求項 15】

前記組換えウイルスは、単純ヘルペスウイルス - 1 バックボーンを含む、請求項 13 に記載の組換えウイルス。